

組合ニュース

発行：2015年7月10日

大分大学教職員組合

TEL・FAX：097-554-7998

E-Mail: oitauu@fat.coara.or.jp

兼業規程に関する交渉報告

—法人は組合の主張を大筋で認める！—

◆ 今回の交渉の成果 ◆

- 非常勤講師の上限時間数週2講義→週10時間へ改善！
 - 非常勤講師の上限時間数の適応範囲から夏季休業、冬季休業、春季休業、試験休み期間を除外！
- 実質的にこれまで通りに兼業が可能！！

第9回・10回団体交渉報告

6月29日、7月6日の2回にわたって兼業規程の改正に関する団体交渉を行いました。そもそも法人が提案した兼業規程は、①手続き上の問題、②非常勤講師の兼業時間数に関する厳しい制限、③非常勤医師と非常勤講師の上限時間数の格差、④学生休業期間の取り扱いについて問題があると組合では考えていました。以下では、それぞれの点の概要と交渉内容、結果について報告します。

■ 労働条件変更の手続き上の問題について

組合が指摘した問題点の第1は、今回の兼業規程の改正は労働条件の変更にあたるので、まず組合と交渉をすべきと指摘したにもかかわらず、交渉を経ずして経営協議会に付議している点です。法人は今回の変更が労働条件の変更とは考えていないという

姿勢を示しました。しかし、法人が労働条件と考えなければ組合に打診しなくてよいということ認めれば、どのような変更も団体交渉を経ずに法人が行えることとなります。組合はこの点を指摘しました。法人は、手続き上の瑕疵を正面から認めたわけではありませんが、組合とのやりとりに食い違いがあったことを認め、今後、労働条件の変更等に関する規定変更において、細やかに組合に打診することを約束しました。

■ 非常勤講師の時間数制限問題について

問題点の第2は、非常勤講師の兼業上限が週2講義（4時間）とされている点です。これに関する議論の中で法人の代表である石川理事が、監事であった時に「非常勤講師は週あたり10時間以内が妥当」と法人に意見したことを明らかにしました。組合は、

それならばどうして4時間するのかを迫及し、最終的に法人は非常勤講師の上限時間を10時間としました。

■ 非常勤医師と非常勤講師の上限時間数の格差問題について

問題点の第3は、非常勤医師と非常勤講師の上限時間数に格差が設けられている点です。法人は格差を設けている理由として、医師の業務の特殊性（講義のように90分ちょうどで終わらない）、医師の不足等を挙げました。しかし、このように非常勤医師と非常勤講師に格差を設けている大学は他にはなく、医師の業務が講師と異なっているという点は全国共通のはずです。また、医師の不足についても大分県のみの問題とはいえないでしょう。組合はこの点を迫及しましたが、非常勤講師の上限時間数が引き上げられた点、学生休業期間中の非常勤講師についての組合要求が認められた点を考慮して譲歩しました。

■ 学生休業期間の取り扱い問題について

問題点の第4は、講義期間以外の取り扱いについてです。法人の提案では学生休業期間においては非常勤講師の上限を設定しないということでしたが、この休業期間は「夏季休業期間をいう」としていました。私たちが非常勤講師（特に集中講義）を依頼されるのは、夏季休業期間に限らず、例えば試験休みの期間にも集中講義を頼まれることもあります。

そこで「夏季休業期間をいう」の部分「夏季休業期間等をいう」と修正するように働きかけました。

法人は個別の事例

については、学長が定める規程の第17条で、集中講義を認めることにより対応したいと主張しましたが、組合は「第17条の規程を適用し、実質的に冬季休業、春季休業、試験休み期間を含むのであるから、『等』を入れた方が混乱しない」と主張し、法人はこれを最終的に認めました。

今回の交渉によって、当初案では2講義（4時間）に非常勤講師が限定されていた兼業規程を改め、10時間と多くの人に実質的にこれまで通りの兼業を認めるものにする成果をあげることができました。

今回の兼業規程改正について、手続き的に問題があったことは先に述べたとおりですが、他方で、組合との交渉の機会をもち、その主張を大筋で認めた法人の姿勢は評価できると考えています。今後も労使の信頼関係構築と教職員の労働環境の改善に尽力しますので、みなさまのご支援、ご協力をよろしくお願いします。

組合ビアガーデンを開催します

今年も恒例の組合ビアガーデンを開催します。職場の方、ご家族を誘ってお気軽にお越しください。みなさまのご参加をお待ちしております。

日時：7月22日（水）17:30～
場所：生協テラス
参加費：大人500円
小中学生100円

生ビール飲み放題！ 焼肉、焼そば、各種おつまみも準備しています。
ゲームもお楽しみに (^_^)

